



朝晩の肌寒さと街路樹の葉の色付きに秋を感じる季節になりました。

ニューズレターVol.197.10月号をお届けします。

是非ご一読いただき、皆様の活動にお役立てください。

今後も皆様の活動に有用な、できるだけ多くの情報をお届けしますので、引き続きご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

編集部 一同

□■トップメッセージ■□

気候変動 市民・企業人・公人として

杉江 不二子

環境省環境カウンセラー

気候変動、はじめの一步は全体を学ぶことから！

皆さんにも、同感していただけたと思います。

気候変動は皆さんもご承知のように、地球規模で国際的、広範な分野に関わる莫大なスケールです。言い替えたとしても、幅が広く層も深く、時間軸も長い・縦軸横軸斜め軸と、やはり漠然とした話に変わりはありません。けれど、ご自身の知識・経験値をより確かなものに深め、市民・企業人・公人として、“何ができそうか！何ができるか！”を探っていくことは可能だと考えられます。

2025年10月13日に、大阪・関西万博が閉会します。万博に訪れた方・関心をお持ちになった方もいらっしゃると思います。コンセプトは、「いのち輝く未来社会のデザイン」です。

このコンセプトは、気候変動を学ぶ要素がたくさん含まれていると思いませんか？

パビリオンの資料には、気候変動の先端が示されているので、新しい知識やヒントを得た方が多くいらっしゃるでしょう。私が行く前に楽しみにしていたのは、「氷のクールスポット」(2)です。「氷のクールスポット」に入ると、桐の香りがして全体がひんやりと快適、広さは6畳4つ分程度でした。当然ながら、エアコンの室内機と室外機はなく、氷蓄熱ユニットと太陽光パネルがありました。冷温貯蔵庫として使われていた氷室から着想を得て現代の技術で再現したということです。このように、氷蓄熱の技術と太陽光発電を組み合わせる新たな設備を作るって素晴らしいと思います。



気候変動で、日本の夏場のような暑さは、5月～10月と長くなっているものの、「氷のクールスポット」が冬の暖房にも使える新しい装置を兼ね備えれば年間通じて普及するかもしれません。気になったので、電子メールで夏場の装置を切り替えて冬場にも利用できないか、問い合わせましたが夏場のみの装置という返事でした。

普及と言えば、以前私は年間利用ができる地中熱の空調体験をしたことがあり、エアコンに代わる設備になると期待したのですが、高額な初期費用を要するなど普及は進んでいないようです。高額な初期費用を抑える新しい設備が開発されたら、こちらも普及の余地があると思えてなりません。これらは、夢ではないと思います。

かつて、家庭では夏場に冷房を使い冬場の暖房はストーブなどが主流でした。それが、冷房と暖房を兼ね備えた新しい装置としてエアコンが登場し今では主流です。最近では、家庭用エアコンの室外機内部のコンプレッサーに

蓄熱槽(3)を配置し、空気中に放出されていた熱を逃がさないという技術も製品化されているようです。

次に、よく知られている太陽光ではなく、太陽熱利用が一般家庭で普及した例があります。太陽熱温水器といい、屋根の南側に水を貯め太陽熱で温水に変え、それを風呂の湯に使うという設備で、ガス代やプロパンガス代の節約になるということで流行しました。当時、近所の人たちは月賦(分割払い)の契約をして取り付けていました。手の届く高額さだったのでしょう。デメリットとしては、屋根に負担がかかると言われていました。

それでも、1970年代前後の普及率は高かったのですが、2000年ごろから太陽光発電に変わり減っていきました。

自然エネルギーは、太陽光・風力・水力・波力・地中熱利用などがあり、それらがもっともっと使われるようになることを願っています。

日本は2050年までに「カーボンニュートラル」を目指していることをご存知だと思います。25年前の2000年ごろから太陽光発電が普及したように、今後の25年で“何ができそうか！何ができるか！”住宅・企業・施設が、取り入れやすい装置と設備で「カーボンニュートラル」の達成を望みます。

同時に世界情勢の影響で、CO2の数値が膨らみ続けている例を共有したいと思います。海路は中東を避けアフリカ南端の喜望峯経由の迂回航路(2024年後半～)に変化、飛行ルートはロシアを大きく避けて冷戦時代にも利用された迂回ルート(2022年～)になっています。現在、CO2の削減と増加は相対するようです。



羽田→パリ 飛行ルート

参照

リサイクルメダルプロジェクト(小規模講座開講を検討)(1)

<https://www.aichi-nagoya2026.org/news/detail/736>

「氷のクールスポット」(2)

<https://www.daikin.co.jp/press/2024/20240822>

蓄熱槽 (3)

<https://panasonic.jp/aircon/contents/enecharge.html>

【プロフィール】



杉江 不二子 (すぎえ ふじこ)

環境省環境カウンセラー

愛知県・名古屋市 環境局委員

元企業 環境・社会貢献担当

活動歴

自然エネルギー／SDGs (ジェンダー)

リサイクルメダルプロジェクト(1)

□■□「エネルギー・環境マネジャーキャリア段位制度」認定における試験免除のご案内□■□

「国家戦略・プロフェッショナル検定」において「エネルギー・環境マネジャーキャリア段位制度」というものがありますが、資格のレベル認定における「試験免除」が実施されており、本検定合格者もその対象となります。

具体的には、「3 R ・ 気候変動検定」に合格された方で

- ◆ 2 年の実務経験（時期不問）があれば申請によってレベル 2 の認定取得が可能
- ◆ レベル 1 を申請の場合は、申請だけで認定の取得が可能（実務経験不要）となります。

詳細は、一般社団法人産業環境管理協会ホームページ（<http://www.jemai.or.jp/eemanager/about.html>）
または、内閣府ホームページ（<https://www5.cao.go.jp/keizai/jissen-cu/jissen-cu.html>）をご覧ください。

□■ 浅利研究室より ■□

【 1 】 10/24 神戸にてカーボンニュートラル談義

<https://www.office.kobe-u.ac.jp/carbon-neutral/news/1757395202.html>

浅利が基調講演させていただきます。

学生さんらのアイデアソンの発表も楽しみです！

=====

【 2 】 10/25 地球研オープンハウス

<https://www.chikyu.ac.jp/rihn/events/detail/286/>

今年も、やってきました！地球研を一挙大公開する年に一度の機会です。

私たちも「のみのいち」やら、万博展示などでお迎えします。

=====

【 3 】 10/25 ことすで本場の餃子作りを！

<https://www.kotos-kyoto.jp/3060>

中国の留学生の皆さんと一緒に、楽しくおしゃべりしながら、本場の餃子づくりに挑戦しませんか？

=====

【 4 】 11/2 京都里山 SDGs ツアーへようこそ！

<https://www.kotos-kyoto.jp/3209>

京北最大の「ふるさと祭」にあわせて、

- ・ 京都里山 SDGs ラボ「ことす」 プラ・スクールも！
 - ・ 京都里山 SDGs プラント「めぐる」 生ごみバイオガス化施設
 - ・ 京都里山 SDGs ハウス「くらす」 ゼロエミッションの家
- をご案内します。

=====

【 5 】 12/10-11 地球研国際シンポジウム＜予告＞

まもなく詳細を公開します。世界各国から豪華なスピーカーをお招きしてのシンポジウムです。日英同時通訳あり。祇園祭の前祭も終え、京都も本格的な夏を迎えることになります。

◆「KANSAI 脱炭素 months」について

11 月から 12 月を推進期間と位置づけ、期間内に関西圏で開催される
脱炭素に関するイベントの情報発信を行っています。

関西圏のイベントをまとめたイベントカレンダーもホームページで公開中！

11 月、12 月に開催されるイベント情報を募集しておりますので、
掲載をご希望の方は、下記リンクより実施要領を確認の上、申請ください。

KANSAI 脱炭素 months : <https://kansai-datsutanso-months.studio.site/>

【1】ニュースレター「R」でつながる への寄稿をお願いします！

寄稿を受け付けているのは次のコーナーです。なお、お寄せ頂いた方の中から、反響の多かった記事に（甲乙つけがたい場合は抽選で）素敵なプレゼントを差し上げます。プレゼントを希望される方は、希望番号もお書き添えください。

◆合格者の声：名前、活動エリア・都道府県、所属団体、なぜ受けようと思ったのか？受けてみての感想は？今後の活動の夢や目標は？公式テキストのおすすめページは？

◆読者の投稿コーナー

○イベント情報・宣伝：自分や自分の所属する団体（行政や企業を含む）がこれから実施するイベントを紹介してください。ご自身のお名前（紹介者として掲載します）、イベントタイトル、日時、場所、概要（100字程度）、申込み方法、紹介WEBサイトなどをご連絡ください。

○イベント報告：自分や自分の所属する団体（行政や企業を含む）が実施したイベントについてご報告ください。写真なども添えて、楽しいご報告を！（200字以内）

○リーダーお薦め&お役立ち情報：3 R・気候変動に関連して、

「この本は目から鱗だった」

「このグッズはすごく3 Rだ」

「こんな勉強会をやったらとてもうまくいった」

「ここを訪ねたらとても勉強になった」

「ここの3 Rゆるキャラはよくできている」

などの耳より情報をお待ちしております。100～300字程度で。

◆今月の写真：3 R・気候変動に関連する写真に近況を添えて。

【応募方法】

- ・ 募集元：一般社団法人持続可能環境センター 担当：ニュースレター編集委員会
- ・ 応募先：ex@3r-cc.jp までお送りください。ご質問等はこちらへ。

【プレゼントの例】

- 1.合格者バッチ（定価：1,000 円）
- 2.書籍「環境学～21 世紀の教養～」（定価：2,700 円＋税）
- 3.高月紘（ハイムーン）お手製グッズ
- 4.本検定代表（浅利美鈴）のソロモン諸島お土産セット
- 5.ふろしき研究会提供のふろしき

【2】プロジェクトアイデア募集しています！

3 R・気候変動リーダーズクラブでは、「こんなことに取り組みたい！」「こんなことに取り組んでみたら？」という意見やアイデアなどもお待ちしております。ex@3r-cc.jp までご連絡ください

■最近のニュース

◆環境省

○アフリカのきれいな街プラットフォーム第4回全体会合の結果について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00596.html

環境省は、独立行政法人国際協力機構（JICA）、横浜市、国連環境計画（UNEP）及び国連人間居住計画（UN-HABITAT）とともに、横浜で行われた第9回アフリカ開発会議（TICAD 9）のパートナー事業として、「アフリカのきれいな街プラットフォーム（ACCP）」第4回全体会合を、令和7年8月20日（水）・21日（木）に横浜で開催しました。

○インド政府と二国間クレジット制度（JCM）構築の協力覚書に署名し、脱炭素事業によるカーボンクレジットの創出に向けた協力を開始しました

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00533.html

<外務省、経済産業省同時発表>

2025年8月7日、小野啓一駐インド特命全権大使とインド環境森林気候変動省 Tanmay Kumar 次官との間で、パリ協定第6条に沿って両国の企業や政府が技術や資金の面で協力して対策を実行し、得られる GHG 削減・吸収量を、両国の貢献度合いに応じて配分する仕組みである二国間クレジット制度（JCM：Joint Crediting Mechanism）の構築に関する協力覚書が署名されました。

○第2回アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）での炭素市場構築に関する国際会合を開催しました

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00529.html

<経済産業省同時発表>

環境省は、経済産業省との共催により、令和7年8月28日（木）に、「第2回アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）での炭素市場構築に関する国際会合」（AZEC・DCM 国際会合）を兵庫県神戸市にて開催しました。同会合には、AZEC パートナー国の政府関係者や関係機関等が参加し、AZEC パートナー国における炭素市場の構築に向け、活発な議論を行いました。

○日本国環境省とインド環境・森林・気候変動省の間の環境協力分野での協力覚書の署名について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00514.html

2025年8月28日、モディ首相来日の機会を捉え、浅尾環境大臣とジョージ駐日インド大使との間で、環境省とインド共和国 環境・森林・気候変動省との間で2018年10月に署名した「環境分野での協力覚書」を更新するための署名を行いました。

今後、環境分野における協力関係をさらに深化させていきます。

○ラオス人民民主共和国農業環境省との環境に関する協力覚書の署名について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00567.html

2025 年 9 月 3 日、マレーシア・ランカウイ島において、浅尾慶一郎日本国環境大臣とリンカム・ドゥアンサヴァン・ラオス人民民主共和国農業環境大臣との間で、気候変動や公害防止等に関する両国の協力を進めるため、環境協力に関する協力覚書の署名が行われました。

○インドネシアにおける二国間クレジット制度（JCM）へのビジネス参画促進に関するフォーラム及びビジネスマッチングを開催しました

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00546.html

1. 日本国環境省、インドネシア共和国環境省及び経済担当調整府の共催により、2025 年 8 月 21 日、インドネシア・ジャカルタにて JCM へのビジネス参画促進に関するフォーラム及びビジネスマッチングを開催しました。
2. フォーラムでは、JCM が両国の NDC（国が決定する貢献）達成やビジネス機会拡大に資する仕組みであることが紹介されました。また、日・インドネシア環境省間の相互承認取決め（MRA）がインドネシア国内制度と JCM を接続する第一歩となることが共有され、日本の GX-ETS におけるクレジット需要の高まりや CCS/CCUS ガイドライン導入の進展等が説明されました。
3. ビジネスピッチでは、日尼企業 10 社が CCUS、廃棄物発電、バイオガス、地熱総合利用、屋根置き太陽光、泥炭地再生、水田の間断灌水（AWD）、森林・湿地プロジェクト開発、バイオ炭、マングローブ林再生といった技術系・自然系のプロジェクトを紹介しました。続くビジネスマッチングでは、ピッチを行った 10 社と日尼政府が、日尼のみならずアジア太平洋地域の事業者と、JCM 展開の可能性について個別に意見交換を行いました。
4. 環境省は、今後も JCM の利用拡大・加速を図り、インドネシアの脱炭素化に貢献していきます。

○令和 6 年度から令和 8 年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」の第八回採択案件の決定について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00634.html

1. 令和 6 年度から令和 8 年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業（以下、「本事業」という）」の第八回採択案件として 1 件を採択しましたので、お知らせいたします。
2. 今後も、「地球温暖化対策計画（令和 7 年 2 月閣議決定）」等に基づき、「二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism：JCM※）」を通じた環境インフラの海外展開を一層強力に促進し、世界の脱炭素化に貢献していきます。

※ JCM（Joint Crediting Mechanism）とは、グローバルサウス等のパートナー国において、日本企業や日本政府が技術や資金の面で協力して対策を実行し、追加的に得られた削減や吸収の効果を、パートナー国側と日本側で分け合う仕組み。

○「人工光合成の社会実装ロードマップ」の公表について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00621.html

1. 環境省は、人工光合成の早期社会実装に向けて、研究開発から社会実装までの道筋を体系的に示した「人工光合成の社会実装ロードマップ」及び人工光合成の技術動向をまとめた資料集を取りまとめました。

２．本ロードマップを踏まえ、産官学が緊密に協力しながら、社会実装に向けた取組を着実に進めてまいります。

○日本・マレーシア環境ウィーク登壇企業等の決定と参加登録開始について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00649.html

１．環境省は、2025年10月15日～17日にマレーシア・クアラルンプールにおいて、「日本・マレーシア環境ウィーク」を両国関係団体とともに開催します。「日本・マレーシア環境ウィーク」のビジネスピッチ登壇企業等の決定と参加登録の開始について、お知らせいたします。

２．プログラムの最新情報は、以下の日本・マレーシア環境ウィークウェブサイトです。随時更新していきます。

⇒ <https://jprsi.go.jp/ew2025my/ja>

３．参加登録方法：下記の日本・マレーシア環境ウィーク参加申込ウェブサイトより御登録ください。

⇒ <https://forms.office.com/r/kLCGEaWLPq> （参加申込に期限はありません）

○第3回日 ASEAN 環境気候変動閣僚級対話等の結果について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00573.html

１．2025年9月2日から5日まで、浅尾環境大臣はマレーシア・ランカウイに出張し、第3回日 ASEAN 環境気候変動閣僚級対話等に参加しました。

２．第3回日 ASEAN 環境気候変動閣僚級対話では、共同声明を採択し、本会合を今後は継続的に開催とすることを確認しました。また、2023年に気候変動・汚染・生物多様性損失という3つの危機に対処していくために発足した「日 ASEAN 気候環境戦略プログラム（SPACE）」を改訂し、日 ASEAN の環境気候変動分野における協力を更に深めていくことに合意しました。

○令和7年度プラスチック汚染とその対策に関するシンポジウムの開催

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00725.html

１．令和7年10月14日（火）、我が国における海洋等におけるプラスチック汚染に関する研究等の知見の共有を目的として、「令和7年度プラスチック汚染とその対策に関するシンポジウム」を開催します。

２．本シンポジウムでは、プラスチック汚染の中でも、マイクロプラスチックを取り巻く問題に焦点を当て、その実態や影響等に関する最新の研究動向や対策を紹介するとともに、今後の対策を進める上での課題や道筋について考えます。

○令和7年度から令和9年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」の第一回採択案件の決定について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00727.html

１．令和7年度から令和9年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業（以下、「本事業」という）」の第一回採択案件として1件を採択しましたので、お知らせいたします。

2. 今後も、「地球温暖化対策計画（令和7年2月閣議決定）」等に基づき、「二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism：JCM※）」を通じた環境インフラの海外展開を一層強力に促進し、世界の脱炭素化に貢献していきます。

※ JCM（Joint Crediting Mechanism）とは、グローバルサウス等のパートナー国において、日本企業や日本政府が技術や資金の面で協力して対策を実行し、追加的に得られた削減や吸収の効果を、パートナー国側と日本側で分け合う仕組み。

○政府実行計画（令和7年2月18日閣議決定）に基づく各府省庁の実施計画の公表について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00787.html

政府実行計画（令和7年2月18日閣議決定）に基づき、各府省庁において、温室効果ガスの排出削減等のために自ら実行する措置を定めた「実施計画」を策定しましたので、取りまとめて公表します。

○各府省庁の実施計画は環境省ホームページを御覧ください。

⇒ https://www.env.go.jp/earth/action/ministries-4_00003.html

○令和7年度スタートアップ企業に対する事業促進支援事業に係る間接補助事業の採択について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00764.html

令和7年度地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業のうちスタートアップ企業に対する事業促進支援事業について、応募のあった提案のうち7件を採択することとしましたので、お知らせします。

【事業の概要】

2030年度までの温室効果ガス46%削減、2050年までのカーボンニュートラル（ネット・ゼロ）の実現に向けては、あらゆる分野で更なるCO₂削減が可能なイノベーションを創出し、早期に社会実装することが必要不可欠です。特に、各地域の特性を活かして、脱炭素かつ持続可能で強靱な活力ある地域社会を構築することが重要です。

本事業は、新規産業の創出・成長を促進し、脱炭素社会の実現に貢献することを目的とし、スタートアップを主とした中小企業等が行うエネルギー起源CO₂の排出削減に資する研究開発事業等を支援するものです。

○Jリーグ公式戦「川崎フロンターレ対柏レイソル戦」における モバイルバッテリー等回収イベントの実施について ～リチウムイオン電池による火災防止強化キャンペーン～

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00838.html

1. 「リチウムイオン電池による火災防止強化キャンペーン」の取組の第1弾として、令和7年9月28日（日）にUvance とどろきスタジアム by Fujitsu（神奈川県川崎市）で開催されるJリーグ公式戦「川崎フロンターレ対柏レイソル」におきまして、リチウムイオン電池等による火災防止のためのイベントを開催します。

2. 当日は、川崎市協力の下、環境省ブースでリチウムイオン電池について学べる間違い探しやモバイルバッテリーの回収のほか、周知啓発パネル・写真等の展示やアンケート調査を行います。

3 今後、その他の J リーグにおけるリチウムイオン電池等の啓発イベントを実施する予定ですので、決まり次第、発表します。

【添付資料】

- ・ 別紙 イベント概要

○国連気候変動枠組条約第 30 回締約国会議（COP30）ジャパン・パビリオン設置に伴う開催地展示の採択結果について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00610.html

COP30 ジャパン・パビリオンでの開催地展示について、2025 年 6 月 12 日（木）～同年 7 月 22 日（火）まで公募し、応募された技術・製品・サービス等を外部有識者からなる審査委員会で審議した結果、9 件を採択しました。

環境省は、2025 年 11 月 10 日～同年 11 月 21 日にブラジル連邦共和国・ベレンで開催される国連気候変動枠組条約第 30 回締約国会議（COP30）に合わせ、「Solutions to The World」をテーマに、我が国の優れた技術や取組の情報を発信するための広報用スペース「ジャパン・パビリオン」を設置します。

ジャパン・パビリオンでは、世界の脱炭素化の実現や気候変動への適応に資する技術・製品・サービス等を開催地展示及びバーチャル展示（オンライン開催）等を実施します。

○地域循環共生圏フォーラム 2025「地域に着目する企業・金融の実践と共創～環境×社会×経済の好循環を目指して～」の開催について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00803.html

環境省では、地域が主体性を持って、環境だけでなく経済・社会に貢献する地域づくりを目指す「地域循環共生圏」の取組を進めています。

このため、令和 7 年 11 月 18 日（火）に都内対面にて地域循環共生圏フォーラム 2025「地域に着目する企業・金融の実践と共創～環境×社会×経済の好循環を目指して～」を開催します。

本フォーラムでは、持続可能な地域づくりに取り組む省庁や企業、金融機関等による実践を共有し、学びや連携を深め、地域循環共生圏の更なる拡大を目指します。

○「木材利用促進の日」及び「木材利用促進月間」について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00779.html

<総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省及び国土交通省同時発表>

環境省は、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省及び国土交通省とともに、脱炭素社会の実現に向け「木材利用促進の日（10 月 8 日）」及び「木材利用促進月間（10 月）」において、地方公共団体や産学とも連携し、国民の皆様に木材利用についての関心と理解を深めていただくための普及啓発に集中的に取り組めます。

○浅尾環境大臣と欧州委員会ジェシカ・ロズウォール委員（環境・強靱な水資源・競争力のある循環経済担当）の会談及び循環経済に関するワーキンググループの実働化について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00828.html

1. 2025 年 9 月 19 日、浅尾環境大臣は、欧州委員会（EU）のジェシカ・ロズウォール委員（環境・強靱な水資源・競争力のある循環経済担当）と会談を行いました。
2. 両者は、循環経済、汚染、生物多様性など、様々な課題について意見交換を行いました。
3. 「日 EU 循環経済に関するワーキンググループ」（以下「ワーキンググループ」）が正式に立ち上げられました。

○日・タンザニア間の二国間クレジット制度（JCM）の第 1 回合同委員会を開催しました

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00877.html

2025 年 9 月 16 日（火）、日・タンザニア間の二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism: JCM）※の第 1 回合同委員会をタンザニア連合共和国にて開催しました。今後は、採択された JCM に係る規則及びガイドライン類に基づき、タンザニアにおける JCM プロジェクトの実施が可能となります。

※ JCM は、パリ協定 6 条に沿って、グローバルサウス等のパートナー国で、日本の企業や政府が技術や資金の面で協力して対策を実行し、得られる GHG 削減・吸収の効果を、両国の貢献度合いに応じて配分する仕組みです。 <https://www.env.go.jp/earth/jcm/index.html>

○「第 11 回全国ユース環境活動発表大会」の実施について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00851.html

環境活動を行っている全国の高校生を対象とする「全国ユース環境活動発表大会」について、本年度の開催概要が決定いたしましたので、お知らせします。

応募を御検討される高校等におかれましては、御準備のうえ、奮って御参加ください。

過去の大会の様子はこちら

⇒ <https://www.erca.go.jp/jfge/youth/topics/20250210.html>

○日・インド間の二国間クレジット制度（JCM）の合同委員会第 1 回を開催、JCM クレジットプロセスへの脱炭素プロジェクトについての情報の受付を開始しました

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00891.html

1. 2025 年 9 月 22 日、日・インド間の二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism: JCM）※の合同委員会（JC）第 1 回を開催し、パリ協定第 6 条に沿って JCM を実施するための規則として Rule of Implementation（RoI）を早期に採択することを目指し最終調整することで一致しました。

2. JC での議論を受け、ROI の最終決定までの間、両政府は、事業構想書（Project Information Sheet）の提出を受け付けます。JCM の適用を希望する事業者は、必要な情報を記入の上、JCMA（JCM 指定実施機関）までご連絡ください。

※ パリ協定第 6 条に沿って、日本とパートナー国の企業や政府が技術や資金の面で協力して対策を実行し、得られる GHG 削減・吸収量を、両国の貢献度合いに応じて配分する仕組み。経済産業省・外務省・農林水産省・環境省が連携して政府一体で制度を運営しており、すでに、エネルギーや廃棄物など、多様な分野で、これまでに約 270 件の事業を実現しており、本年 4 月には、法律に基づく指定実施機関も立ち上げて、プロセスの加速化にも取り組んでいるところです。

⇒ <https://www.env.go.jp/earth/jcm/index.html>

「二国間クレジット制度（JCM）の概要と最新動向：日本語版（2025年9月）」はこちらをご覧ください。

○リチウムイオン電池による火災防止シンポジウムの開催について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00908.html

1. 令和7年11月1日(土)、11月から始まる「リチウムイオン電池による火災防止月間」に合わせ、「リチウムイオン電池による火災防止シンポジウム」を開催します。
2. 本シンポジウムでは、ごみ清掃芸人のマシンガンズ滝沢秀一さんや国立環境研究所、製品評価技術基盤機構（NITE）の専門家等とともに、近年、頻発しているリチウムイオン電池による火災を防止するため、リチウムイオン電池の発火の現状や安全な使用・廃棄方法等を学び、国民一人ひとりが行うべき行動について考えます。

【添付資料】別添1 リチウムイオン電池による火災防止シンポジウム（プログラム案）

○第26回日中韓三カ国環境大臣会合（TEMM26）の結果について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00839.html

1. 令和7年9月28日、第26回日中韓三カ国環境大臣会合（TEMM26）が中華人民共和国山東省煙台にて開催されました。我が国からは、浅尾慶一郎環境大臣が出席しました。
2. 会合では、各国の環境政策等について意見交換するとともに、「環境協力に係る日中韓三カ国共同行動計画（2026-2030年）」及び会合の結果を取りまとめた共同コミュニケを採択しました。
3. また、日中韓の環境協力に係る各国の功労者に対する表彰が行われ、日本からは国立研究開発法人 国立環境研究所の谷本浩志氏が受賞しました。

○～消費行動を環境行動に！「選ぼう！3Rキャンペーン2025」～10月から全国一斉スタート！

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00912.html

1. 環境省では、循環型のライフスタイルを「Re-Style」として提唱し、その一環として消費者キャンペーン「選ぼう！3Rキャンペーン」を今年もスタートします。
2. この取組は、日々のお買物を通じて、消費者一人ひとりが3Rや資源の大切さを認識・共感し、日頃の行動（商品選択）へ結びつけることを目的としたものです。

○第4回日中環境ハイレベル円卓対話の結果について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00843.html

1. 環境省は中華人民共和国生態環境部とともに、第4回日中環境ハイレベル円卓対話を、2025年9月29日に開催しました。
2. 本会合では、浅尾環境大臣、黄潤秋生態環境部長から今後の日中の環境協力について確認され、環境分野における日本と中国の政府及び有識者により、両国のグリーン低炭素発展や転換の推進及び環境対策の地域や都市などに着目した多層的な推進について意見交換を行いました。

○建設リサイクル法に係る全国一斉パトロールの実施 ～現場における適切な分別解体、再資源化の徹底に向けて～

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00929.html

(1) 環境省では、厚生労働省及び国土交通省と協働で建設リサイクル法に係る全国一斉パトロールを令和7年10月～同年11月まで実施します。

(2) 平成14年度に「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)が完全施行されてから、今年度で23年が経過し、この間、現場における適切な分別解体、再資源化の徹底を図るため、全国の行政庁において現場パトロールを実施してまいりました。

(3) こうした取組もあり、建設リサイクル法の目的である、建設資材のリサイクル率の向上や不法投棄量の減少について着実に進展が図られているところです。

(4) 平成28年6月に「解体工事業」が建設業法に新設されたことを受け、解体工事に關し新たに許可を取得する者が増加していることや、解体等工事に伴うアスベストの飛散防止及びフロン類の廃棄時回収など、必要となる知識・技術がより広範になり、これまで以上に現場における法令の遵守徹底が重要になっていることを踏まえ、更なる現場指導の徹底や監視の強化を図ってまいります。

○環境省・消費者庁・農林水産省合同「”MOTTAINAI®”をはじめようフェス」の開催について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00884.html

1. 10月の「食品ロス削減月間」の一環として、環境省、消費者庁及び農林水産省の3省庁が連携し、令和7年10月5日(日)10時から、埼玉県越谷市のイオンレイクタウン kaze 1階光の広場において、食品ロス削減をテーマとした参加型イベント「“MOTTAINAI®”をはじめようフェス」を開催いたします。

2. 当日は、食品ロス削減推進アンバサダーであるお笑い芸人ロバート・馬場裕之氏なども登壇します。

3. なお、取材いただくことは可能ですので、御希望の方は、「開催内容(3)取材について」を参照の上、事務局まで御連絡ください。

○令和7年度食品ロス削減月間について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00925.html

1. 「食品ロスの削減の推進に関する法律」(略称 食品ロス削減推進法)第9条において、10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」と定められています。

2. 令和7年度の食品ロス削減月間において、環境省は、消費者庁、農林水産省と連携して、食品ロスの削減に向けた取組についての集中的な普及・啓発に取り組みます。

○令和7年度「食品ロス削減推進表彰」受賞者決定について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00909.html

1. 令和7年5月30日(金)から同年7月31日(木)の期間で消費者庁とともに公募した、令和7年度「食品ロス削減推進表彰」について、この度、受賞者が決定しましたので、お知らせします。

2. 応募のあった計88件の中から、環境大臣賞1点、内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全)賞1点、環境事務次官賞2点、消費者庁長官賞2点、消費者庁次長賞2点、食品ロス削減推進表彰審査委員会委員長賞4点及び食品ロス削減推進表彰審査委員会特別賞4点を受賞者として選定しました。

◆経済産業省

○第 5 回アジア CCUS ネットワークフォーラムが開催されました

⇒ <https://www.meti.go.jp/press/2025/09/20250911003/20250911003.html>

9 月 10 日（水曜日）、11 日（木曜日）、経済産業省及び東アジア・ASEAN 経済研究センター（ERIA）は、第 5 回アジア CCUS ネットワークフォーラムをインドネシア・ジャカルタにおいて開催しました。

会議において、武藤経済産業大臣がビデオメッセージで冒頭挨拶を行ったほか、将来的な越境 CCS を含む、アジア地域での CCUS の活用に向けた、政策、プロジェクト、CO₂ 輸送技術の動向や検討すべき課題、国際協力の可能性について議論が行われました。

○日 EU エネルギー政策対話を開催しました

⇒ <https://www.meti.go.jp/press/2025/09/20250916008/20250916008.html>

9 月 16 日（火曜日）、村瀬資源エネルギー庁長官は、ヨルゲンセン欧州委員会エネルギー総局長と、日 EU エネルギー政策対話を開催しました。

本対話において、日本側と EU 側は、強靱で信頼性のあるサプライチェーンの構築を含むクリーンエネルギー移行に関する協力、また、天然ガス・LNG、水素、メタン排出削減及び原子力、特に SMR に関する協力可能性について議論を行いました。本対話は、本年 7 月に開催された第 30 回日 EU 定期首脳協議及び「日 EU 競争力アライアンス」に関する発表をフォローアップするものです。

◆農林水産省

○『森の国・木の街』づくり宣言」に参画する自治体・企業等の募集を開始します

⇒ <https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/mokusan/250919.html>

『森の国・木の街』づくり宣言」は、自治体や企業等の皆さまが、建築物の木造化や木材利用の効果の見える化を通じて、森林資源の循環利用を進め、地球温暖化の防止や地域の活性化などを目指すことを宣言するものです。自治体や企業等の皆様の積極的な参画をお待ちしています。

○10 月は「木材利用促進月間」です ～ウッド・チェンジ 木づかいが 森をよくする 暮らしを変える。「森の国・木の街」の実現に向けて～

⇒ <https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/riyou/250919.html>

農林水産省は、総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省及び環境省とともに、脱炭素社会の実現に向け、「木材利用促進の日」（10 月 8 日）及び「木材利用促進月間」（10 月）において、地方公共団体や産学とも連携し、国民の皆様に木材利用についての関心と理解を深めていただくための普及啓発に集中的に取り組めます。【総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省同時発表】

○第 4 回森林（もり）づくり全国推進会議と「企業と森林（もり）の共創による win-win な未来へ」をテーマとしたシンポジウムを開催！

⇒ <https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kikaku/250919.html>

「企業と森林（もり）の共創による win-win な未来へ」をテーマとしたシンポジウムを開催。

「森林×ACT チャレンジ 2025」、「サザエさん一家の” もりのわ” 話 吹き出しコンテスト」の表彰式を同日に開催。

○第 13 回「食品産業もったいない大賞」の受賞者決定！ ～「もったいないを生かす」農家レストランに農林水産大臣賞～

⇒ https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/250930_3.html

食品産業の持続可能な発展に寄与する食品関連事業者等を表彰する第 13 回「食品産業もったいない大賞」について、農林水産大臣賞、農林水産省大臣官房長賞など各賞の受賞者が決定しました。

令和 7 年 10 月 30 日（木曜日）に表彰式及び受賞者による事例発表会を開催、一般公開します。

○10 月は「食品ロス削減月間」、10 月 30 日は「食品ロス削減の日」！

⇒ https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/250930_2.html

農林水産省は 10 月の「食品ロス削減月間」の期間中、消費者庁、環境省と連携し食品ロスの削減に向けた取組を集中的に発信。

10 月 30 日の「食品ロス削減の日」は東京都千代田区で「食品ロス削減全国大会」を開催。「食品産業もったいない大賞」の表彰を同大会の中で実施。

小売店での「てまえどり」、外食での「食べきり」の呼びかけなど様々な情報を発信。

○残さずおいしく食べきり！食品ロス削減 ～外食店舗での啓発ポスター及び卓上ポップを作成しました～

⇒ https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/250930_1.html

農林水産省は、外食での食品ロス削減の取組を一層促進するため、外食店舗における「食べきり」を呼びかけることを目的とした啓発ポスター及び卓上ポップを作成しました。外食店舗で食べきりを呼びかけるため、ぜひお気軽にご使用ください。

◆国土交通省

CO2 削減の未来へ！「省 CO2 先導プロジェクト 2025」を決定しました！ ～令和 7 年度サステナブル建築物等先導事業（省 CO2 先導型）提案の採択～

⇒ https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001299.html

省エネ・省 CO2 に係る先導的な技術を導入した住宅・建築物のリーディングプロジェクトを支援しており、公募等の結果、11 件の「省 CO2 先導プロジェクト 2025」※を決定しました。

※令和 7 年度サステナブル建築物等先導事業(省 CO2 先導型)に採択されたプロジェクトの通称。

○10 月は「木材利用促進月間」です ～ウッド・チェンジ 木づかいが 森をよくする 暮らしを変える～

⇒ https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001306.html

総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省では、脱炭素社会の実現に向け、「木材利用促進の日（10 月 8 日）」及び「木材利用促進月間（10 月）」において、地方公共団体や産学とも連携し、国民の皆様に木材利用についての関心と理解を深めていただくための普及啓発に集中的に取り組めます。

○建設リサイクル全国一斉パトロールを実施します ～10月は3R（リデュース・リユース・リサイクル）推進月間です～

⇒ https://www.mlit.go.jp/report/press/tochi_fudousan_kensetsugyo13_hh_000001_00310.html

建設工事に伴って廃棄される特定建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト・コンクリート）の再資源化、再利用は重要な課題であり、建設リサイクル法では、これらを用いた建築物の解体工事等において、その受注者等に対し、分別解体等及び再資源化等を行うことを義務付けています。

3R推進月間に合わせて、建設リサイクルの意義の一層の浸透を図るとともに、関連する取組を推進していくため、例年、関係機関と連携した全国一斉パトロールを実施しています。

◆消費者庁

○食品ロス削減に向けた取組について

⇒ https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/efforts/

10月は、食品ロス削減月間です。消費者庁、農林水産省、環境省では、令和7年度食品ロス削減月間のポスターを作成しました。

食品ロス削減月間ポスターの申込に関してはこちら。

○食品ロス削減に向けた取組について

消費者庁は農林水産省、環境省と連携して、食品ロス削減に向けた取組について、集中的な普及・啓発に取り組みます。

- ・ 10月食品ロス削減月間についてはこちら[PDF:2.1MB]
- ・ MOTTAINAI(R)をはじめようフェスについて[PDF:353KB]
- ・ 消費者庁 食品ロス削減月間特設ページは、こちら。
- ・ 令和7年度食品ロス削減全国大会については、こちら。

○「令和7年度食品ロス削減推進表彰」受賞者決定

⇒ <https://www.caa.go.jp/notice/entry/043681/>

消費者庁及び環境省は、食品ロス削減・食品寄附促進の取組を広く国民運動として展開していくことを目的として、「令和7年度食品ロス削減推進表彰」を実施し、令和7年5月30日から7月31日まで募集を行い、たくさんの応募をいただきました。

この度、内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全)賞、環境大臣賞、消費者庁長官賞、環境事務次官賞、消費者庁次長賞、食品ロス削減推進表彰審査委員会委員長賞及び食品ロス削減推進表彰審査委員会特別賞の受賞者を決定しました。

◆国立研究開発法人国立環境研究所

○国立環境研究所一般公開2025 特設サイトをオープンしました

⇒ <https://openhouse.nies.go.jp/2025/>

◆公益財団法人廃棄物・3R研究財団

○「令和 7 年度 廃棄物・3 R 研究財団& 3 R 資源循環推進フォーラム年次報告会」（令和 7 年 10 月 27 日（月）開催）の受付を開始しました。皆様のご参加をお待ちしております。

⇒ https://www.jwrf.or.jp/seminar/r7_forum.html

◆ 3 R ・ 資源循環推進フォーラム

○第 1 回資源循環自治体フォーラムのアーカイブ配信をご覧ください。

⇒ <https://www.jwrf.or.jp/SJJ-forum2025-DW.html>

■各種情報・イベント等

■行政関係

◆北海道

○北海道環境基本計画

⇒ <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ksk/kihonkeikaku.html>

◆青森県

○生ごみ減量・食品ロス削減に取り組みましょう

⇒ <https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kankyo/shigen/namagomigenryo.html>

◆秋田県

○映画「プラスチックの海」上映会を開催します！

⇒ <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/91579>

○スマホアプリ「あきエコどんどんプロジェクト」で環境にやさしい取組をして、オトクな賞品をゲットしよう！

⇒ <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/43208>

◆山形県

○持ち歩こう！マイボトル運動

⇒ <https://www.pref.yamagata.jp/050010/kurashi/kankyo/recycle/mybottle.html>

◆福島県

○リチウム蓄電池の分別をお願いします！

⇒ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16045a/lithium.html>

○「量り売りエシカルマルシェ」を開催します！

⇒ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16005b/ethical-fukushima-activities.html#hakariuri-marushe>

○食べ残しゼロ協力店・事業所」認定店の取組を紹介します

⇒ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16045a/foodloss-ninteiten.html>

◆茨城県

○食品ロス削減に向けた「いばらき食品ロスみんなでゼロ作戦！」を実施します！

⇒ <https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/shijun/kikaku/r7syokuhinrosucamp.html>

○リチウムイオン電池等の分別は適切に！

⇒ <https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/shijun/kikaku/lib.html>

○食品ロスの削減に向けた「いばらき食べきり協力店」を募集します

⇒

<https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/haitai/kikaku/syokuhinrosu/syokuhinnrosutabekirikyouryokuten.html>

◆群馬県

○令和 7 年版環境白書を作成しました

⇒ <https://www.pref.gunma.jp/site/houdou/720864.html>

◆埼玉県

○家庭から出る使用済みリチウムイオン電池からのレアメタル回収

⇒ <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0507/lithium/jikoboshi.html>

◆千葉県

○千葉海ごみゼロキャンペーンについて

⇒ <https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/press/2025/umigomizero2025.html>

○マイボトルの利用促進に向けた給水スポットの紹介について

⇒ <https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/3r/mybottle/spot.html>

◆東京都

○家庭の油の回収に便利な「江戸前じょうご」を配布

⇒ <https://www.metro.tokyo.lg.jp/information/press/2025/08/2025082203>

◆長野県

○～10 月は食品ロス削減月間です～「信州食べきりキャンペーン」を新たに実施します

⇒ https://www.pref.nagano.lg.jp/haikibut/happyou/20250919_press.html

◆愛知県

○「Let's エコアクション in AICHI～遊んで学んでエコ体験 ♪始めよう地球にいいこと～」を開催します！

⇒ <https://www.pref.aichi.jp/press-release/ecoactionr07.html>

○あいちサーキュラーエコノミー推進プロジェクトチームの協働によるプラスチック循環の実証実験が瀬戸市でスタートします！

⇒ <https://www.pref.aichi.jp/press-release/projectteam20250918.html>

◆滋賀県

○食品ロスの現状・課題の概説

⇒ <https://www.pref.shiga.lg.jp/gomizero/foodloss/334849.html>

○今月のプラチャレ

⇒ <https://www.pref.shiga.lg.jp/gomizero/shigapura/334847.html>

◆大阪府

○「大阪もったいないキャンペーン 買い物から始める食品ロス削減」の実施

⇒ https://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/fumin/o120110/prs_51027.html

○清掃イベント『ごみゼロアクション！～大阪秋の陣～』を開催します！

⇒ https://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/fumin/o120020/prs_51206.html

◆和歌山県

○瀬戸内海プラごみ対策ネットワークによる令和 7 年度瀬戸内海流域一斉清掃の開催について

⇒ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031800/d00220768.html>

◆広島県

○減らそう「食品ロス」

⇒ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/food-waste-loss/>

◆香川県

○第6回かがわ食品ロス削減大賞／第3回かがわプラスチック・スマート大賞を募集します

⇒ <https://www.pref.kagawa.lg.jp/junkan/loss/kakonotorikumi/20250910.html>

◆高知県

○令和7年度「あったか高知。秋のおもてなし一斉清掃」参加者募集

⇒ <https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2025061600196/>

◆福岡県

○食べ残しによる食品ロス削減！「持って帰っていいと(eat)ボックス」を配布します

⇒ <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/eatbox.html>

◆大分県

○プラ回収に協力して「おおいた和牛」を当てよう！

⇒ <https://www.pref.oita.jp/soshiki/13400/eco-campaign.html>

○令和7年度県内一斉フードドライブ

⇒ <https://www.pref.oita.jp/site/foodloss/foodloss.html>

○第4次大分県環境基本計画

⇒ <https://www.pref.oita.jp/soshiki/13090/dai4jikankyokihonkeikaku.html>

◆仙台市

○令和7年8月の家庭ごみ量速報をお知らせします

⇒ <https://www.city.sendai.jp/haiki-kanri/kurashi/machi/genryo/chosa/data/sokuho.html>

◆さいたま市

○ジャッキーといっしょに みんなでまなぼう！はじめよう！3R「令和7年度大都市減量化・資源化共同キャンペーン」を実施します

⇒ <https://www.city.saitama.lg.jp/006/014/008/003/014/006/p124468.html>

○イオンモールで資源回収BOXの常設を開始します！～「捨てない」からはじめよう～

⇒ <https://www.city.saitama.lg.jp/006/014/008/003/014/006/p124053.html>

◆千葉市

○令和7年度「大都市減量化・再資源化共同キャンペーン」を実施します

⇒ <https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/shichokoshitsu/hisho/hodo/documents/250924-1-1.pdf>

○千葉市のごみ量

⇒ <https://www.city.chiba.jp/kankyo/junkan/haikibutsu/herasou.html>

◆横浜市

○横浜市とローソンが連携 使い捨てプラスチック削減を呼びかける「GO GREEN プラチャレンジ at ローソン」開始

⇒ <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/green/2025/lawsonkoukoku.html>

○リチウムイオン電池等の収集を開始します！

⇒ <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/shigen/2025/0919batteries.html>

○区役所や学校に「マイボトル対応型給水機」を設置します！

⇒ https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/shigen/2025/press_shigen_3r.html

◆京都市

○京都エコロジー・フィールドワーク『環境と循環型社会を探る』の開催について

⇒ <https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000345550.html>

○「食品ロス削減月間」（10月）の取組

⇒ <https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000345591.html>

○市民向けフードドライブ（余剰食品の回収・寄付）を実施（10月）

⇒ <https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000344967.html>

○南部クリーンセンター環境学習施設「さすてな京都」環境学習プログラム（10月）のお知らせ

⇒ <https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000345196.html>

◆堺市

○集めて、量って、リサイクル！「その他の古紙救出キャンペーン」参加者募集！

⇒ https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/gomi/gomi_recy/recycle/kosi-kaisyu/koshicampaign.html

◆神戸市

○～10月は食品ロス削減月間～ 様々な取り組みで食品ロスを減らそう！

⇒ <https://www.city.kobe.lg.jp/a25748/752593173468.html>

○ごみ収集車・処理施設の発火事故防止

⇒

<https://www.city.kobe.lg.jp/a04164/kurashi/recycle/gomi/dashikata/bunbetsukubun/hakkajikoboshi.html>

◆岡山市

○在宅医療廃棄物は正しく捨ててください

⇒ <https://www.city.okayama.jp/harmonia/0000067398.html>

◆福岡市

○フードドライブ開催情報

⇒ <https://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/jigyokeigomi/life/3r/fooddrive.html>

○食べて・買って・食品ロス削減を応援！福岡エコ運動協力店をめぐるスタンプラリーに参加しよう

⇒ https://www.city.fukuoka.lg.jp/shisei/kouhou-hodo/hodo-happyo/2025/documents/Fukuoka_EcoFriendly_Campaign_Stamp_Rally.pdf

○「環境フェスティバルふくおか2025」を開催します！

⇒ <https://www.city.fukuoka.lg.jp/shisei/kouhou-hodo/hodo-happyo/2025/documents/kankyofestivalfukuoka2025wokaisaisimasu.pdf>

◆熊本市

○令和7年度大都市減量化・資源化共同キャンペーンについて

⇒ <https://www.city.kumamoto.jp/kiji00366674/index.html>

○ごみ減量リサイクルクイズの実施について（熊本市公式LINEアカウント友だち登録者限定！）

⇒ <https://www.city.kumamoto.jp/kiji00366675/index.html>

◆豊島区

○マイボトル用給水機を設置しました

⇒ <https://www.city.toshima.lg.jp/148/2305101158.html>

○水銀混入ごみに伴う豊島清掃工場 2 号炉の停止について

⇒ <https://www.city.toshima.lg.jp/151/2508191719.html>

○水銀を含むごみの出し方にご注意ください

⇒ <https://www.city.toshima.lg.jp/151/2508261345.html>

○小型充電式電池（リチウムイオン電池等）や水銀を含む製品の分別の徹底にご協力ください

⇒ <https://www.city.toshima.lg.jp/151/2508261444.html>

◆練馬区

○使用済み食用油で飛行機を飛ばそう

⇒ <https://www.city.nerima.tokyo.jp/kurashi/gomi/oshirase/abura.html>

◆足立区

○くらしフェスタ「エシカル消費、始めの一步」

⇒ <https://www.city.adachi.tokyo.jp/sangyo/07kurashifesta.html>

◆葛飾区

○災害時のごみの出し方について

⇒ <https://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000048/1026424/1026426.html>

◆川越市

○フードドライブを実施します

⇒ <https://www.city.kawagoe.saitama.jp/kurashi/gomi/1002421/1002436.html>

◆武蔵野市

○むさしの環境フェスタで使用済み油を回収します！～使用済み油で空を飛ぶ！？～

⇒ https://www.city.musashino.lg.jp/gomi_kankyo/gomi/event_gomi_kankyou/1052112.html

◆横須賀市

○クリーンよこすか海ごみゼロ大作戦!を開催します

⇒ https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4105/nagekomi/20250915_cleansea.html

◆東大和市

○飲料用のアルミ付き紙容器（アルミ付き紙パック）を回収しています

⇒ <https://www.city.higashiyamato.lg.jp/kurashi/gomirecycle/1001947/1011312.html>

◆大井町

○環境基本計画を改定しました

⇒ <https://www.town.oi.kanagawa.jp/soshiki/9/kankyoukihonkeikaku.html>

■団体関係

◆(NPO)環境文明 21

○会報「環境と文明」目次録および巻頭言「風」追加しました。会報 6 月号の全文を公開しました。

⇒ http://www.kanbun.org/kaze/mokuji_33.html

◆スチール缶リサイクル協会

○マンガのサイトができました

⇒ <https://steelcan.jp/manga/index.html>

◆(一社)全国清涼飲料連合会

○全清飲、世田谷区「エコプラザ用賀」にてボトル to ボトル展示を実施

⇒ <https://www.j-sda.or.jp/news/2025/09/19/post-1450/>

◆中間貯蔵・環境安全事業（株）

○「PCB 廃棄物処理施設 日曜見学デイ」の開催について

⇒ <https://www.jesconet.co.jp/content/000024749.pdf>

○「環境報告書 2025」を発行しました

⇒ <https://www.jesconet.co.jp/company/environment/envirorep.html>

◆(公財)日本環境協会

○2025 年度こどもエコクラブ 「全国エコ活コンクール」 作品の募集について

⇒ <https://www.jeas.or.jp/news/000199.html>

◆PET ボトルリサイクル推進協議会

○統計データ「使用済み PET ボトルの輸出状況」を更新しました。

⇒ <https://www.petbottle-rec.gr.jp/data/exportation.html>

○統計データ「PET ボトルの再商品化実績」を更新しました。

⇒ <https://www.petbottle-rec.gr.jp/data/achievement.html>

■参加者募集

◆三重県

○「エコな持ち帰り術 ～ふろしきで本を包もう～」を開催します

⇒ <https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0012300357.htm>

◆川口市

○令和 7 年度川口市民大学「待ったなし！みんなでごみを減らそう」受講者募集のお知らせ

⇒ <https://www.city.kawaguchi.lg.jp/soshiki/04010/020/8/26/oshirase/49381.html>

■市民委員等募集

◆熊本市

○熊本市環境審議会の委員を募集します

⇒ <https://www.city.kumamoto.jp/kankyo/kiji00366513/index.html>

第22回：身近な動植物の減少（ゴミック新作集18-12）

WWF（世界自然保護基金）の2024年レポートでは、生物多様性は1970年から73%も減少したとの報告があった。確かに、われわれの身近な動植物の中でも、姿が消えつつあるものが報告されています。例えば、どこでも見かける野鳥「スズメ」は3.6%減少し、蝶々の「イチモンジセセリ」は6.9%も減少している。20年前に絶滅危惧種になった「トノサマガエル」や「メダカ」は、ほとんど見かけることはない、また、秋の七草でおなじみの「フジバカマ」も準絶滅危惧種になってしまった。せめて、身近な動植物だけでも生物多様性を保ちたいものです。



作者註：最近、身近な動植物が急速に減ってきています

「連載：3R・気候変動マンガ集」には、毎回、3R分野と気候変動分野にちなんだ作品を「ハイムーン工房ギャラリー」の「ゴミック新作集」(<https://highmoonkobo.net/>)からピックアップして紹介します。

なお、ハイムーン氏は氏が作成したマンガ、イラストについては基本的には著作権主張されず、むしろ多くの人に活用されることを望んでおられます。例えば、環境NPOのニュースレター、各自治体の廃棄物対策用啓発パンフレット、教育現場での教材などには、紙媒体だけでなく電子媒体でも活用可能です。イラスト利用の場合は出来れば「ハイムーン工房のホームページより」などと出典を明記していただければ幸いです。但し、企業の営利にかかわるものへの活用はお断りされています。

また、ハイムーン工房のギャラリー作品は一つの作品に3つの解像度（オリジナル、中サイズ、小サイズ）のものを用意されていますので、要望に合わせてダウンロードして活用ください。

作品についてのさらなる要望（たとえば白黒画像など）があれば、直接、ハイムーン氏へ下記電子メールで連絡してください。

■プロフィール：高月 紘

【略歴】1941年京都府生まれ。1965年京都大学工学部卒業、1977年京都大学工学博士、1985年京都大学環境保全センター教授。京都大学名誉教授 工学博士（廃棄物処理）。

京エコロジーセンター前館長。公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 前理事長。日本漫画家協会会員。

【コンタクト】ハイムーン工房：URL <http://highmoonkobo.net/> 電子メール：em.highmoon@gmail.com

1. JCCCA からのお知らせ

【環境学習支援ツール】地球温暖化まなび BOX の公開について

<https://www.jccca.org/news-info/371031>

JCCCA（全国地球温暖化防止活動推進センター）では、気候変動教育の導入促進に向けて、Gakken と共同で「地球温暖化まなび BOX」を開発しました。

本ツールは、「気候変動教育を始めたいが方法がわからない」という教員向けに作られた教材で、授業で手軽に活用できます。

本日より、本ツールを公開いたしましたのでご案内申し上げます。

下記ページよりアクセスいただけます。

<https://www.jccca.org/climate-change-education/manabi-box>

※教材のダウンロードには、利用登録フォームへの入力が必要となります。

「地球温暖化まなび BOX」は、授業などで気候変動教育を手軽に始められるように設計した教材です。ぜひ環境教育の現場でご活用ください。

未来の地球を守る教育の普及に向けて、皆さまのご支援とご協力を賜れますと幸いです。

2. 温暖化関連ニュース

地球環境基金助成金のご案内

<https://www.jccca.org/news/379232>

3. 温暖化関連イベント情報

「地域脱炭素フォーラム 2025 in 名古屋」の開催

https://www.jccca.org/event_info/382710

<お願い>

JCCCA ウェブサイトでは、温暖化関連イベントの情報を掲載しています。

掲載希望のイベントがございましたら、下記の URL からご連絡をお願いいたします。

<https://www.jccca.org/otoiawase/event-form>

~~~~~  
発行者：全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）

<https://www.jccca.org/>

「秋の七草は」と問われたら、頭の中で「オスキナフクハ（お好きな服は）」を思い出せば、「オミナエシ」、「ススキ」、「キキョウ」、「ナデシコ」、「フジバカマ」、「クズ」、「ハギ」と、名前だけはすらすらと答えられます。でも、春の七草のように、その姿まで思い浮かべるほどに身近ではないように思います。七草粥にして食べる対象と鑑賞の対象の違いがそう感じさせるのでしょうか。

秋の風情の中で親しまれてきた秋の七草は、ススキとハギとクズ以外は絶滅危惧種か準絶滅危惧種に指定されています。オミナエシやキキョウは、庭の植栽ではよく見かけるように思いますが、自生は激減しているそうです。逆に、クズは強い繁殖力のせいで駆除され、海外では侵略的外来種として問題になっています。

長い歴史と文化の中で定着していた季節の風情も、近年、環境とともに植生が年大きく変化し、ライフスタイルの多様化もあって、文化的価値が失われていくような寂しさを覚えます。



オミナエシ（女郎花）とキキョウ（桔梗）

インターネットのフリー素材より

文責：村岡良介

---

□■編集後記■□

---

秋は、「スポーツの秋」、「読書の秋」、「芸術の秋」、「食欲の秋」、「・・・の秋」などと呼称されます。それぞれその由来は異なるようですが、共通して意欲を掻き立てる季節という印象がありますね。実際に、脳を働かせるのに最適な気温が14～16度くらいだそうですから、快適な秋の天候がそうさせるのかもしれません。読者の皆さんも、ご自身の「秋」をみつけて、何か始めませんか。

お気に入りの画像にメッセージを添えて、「今月の1枚」を投稿しませんか？

「合格者の声」の投稿も歓迎します！

本ニュースレターを読者の皆様ご自身の活動紹介や情報発信、交流の場に活用してください。

編集メンバー：浅利美鈴（総合地球環境学研究所）、

村岡良介（日本環境衛生センター・村岡環境カウンセラー事務所）、

山田大智（京都大学）

協力：3R・資源循環推進フォーラム、全国地球温暖化防止活動推進センター

---

---

□■お問い合わせ窓口■□

---

---

◆一般社団法人 持続可能環境センター◆

〒604-8874 京都市中京区壬生天池町 27-4 Tel : 075-708-8144 FAX : 075-708-8153

◆3R・気候変動検定 検定事務センター◆

〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-16-13 堺筋ベストビル 9 階 一般財団法人 環境事業協会内

電話 : 06-6210-1720 Website: <https://3r-cc.jp> E-mail : [ex@3r-cc.jp](mailto:ex@3r-cc.jp)

Instagram ID: @3r\_kikouhendou\_kentei: ([https://www.instagram.com/3r\\_kikouhendou\\_kentei/](https://www.instagram.com/3r_kikouhendou_kentei/))

X (Twitter) ID: @3r\_lcs\_kentei ([https://twitter.com/3r\\_lcs\\_kentei](https://twitter.com/3r_lcs_kentei))

Facebook ID: @3r・気候変動検定 (<https://www.facebook.com/3rteitanso/>)

受付時間 9 : 00 - 17 : 00 (12 : 00 - 13 : 00 を除く) 休業日 : 土・日・祝・年末年始 (12 月 28 日 ~ 1 月 5 日)